

市町村担当者円卓会議（第3回）

「震災伝承・震災メモリアル事業の現状と課題」を開催しました

東日本大震災により被災した宮城県内の各市町では、それぞれ、震災津波伝承施設の運営や震災遺構の保存、記念公園・モニュメントの整備、語り部事業といった震災伝承・メモリアル事業を展開されています。今後、全国・全世界に向けた訴求力・発信力を高めていくためには、少なくとも県単位の情報共有・連携が必要となりますが、その進め方が課題となっています。

このような背景から、各市町における震災伝承・メモリアル事業の実施状況や課題について情報交換を行い、今後の連携のあり方について考えるきっかけとするため、自治体担当者円卓会議（第3回）「震災伝承・震災メモリアル事業の現状と課題」を平成28年11月10日（木）午後、エルパーク仙台（宮城県仙台市内）にて開催しました。

震災伝承・震災メモリアル事業の県内における取組の共有

当日ご参加頂いた3市1町（石巻市・東松島市・仙台市・山元町）から、それぞれの震災伝承・メモリアル事業の取組状況についてご報告いただきました。また、事前に沿岸15市町に情報提供を依頼しとりまとめた「震災伝承・震災メモリアル事業に係る取り組み状況シート」に基づき、その他の自治体（気仙沼市・多賀城市・名取市）の取組状況について、事務局より情報共有しました。

震災伝承・震災メモリアル事業の県内外先進事例の共有

当日お招きしたアドバイザー（公益財団法人山の暮らし再生機構 理事長 山口壽道さん、東北大学災害科学国際研究所 助教 佐藤翔輔さん）から、県内・外の先進事例の報告をいただきました。

山口さんからは中越メモリアル回廊（中越大震災メモリアル拠点整備）について情報提供いただきました。市町をまたぐ4施設3パークから構成される中越メモリアル回廊のコンセプトは、“中越まるごとアーカイブ”。(1) アーカイブの充実、(2) 防災学習プログラムの開発と展開、(3) 持続可能な地域づくりの拠点、(4) メモリアル事業の維持発展の為の収益事業の検証を行うことを狙いとしています。既存施設を活用した各施設の内容や、相互の機能分担の状況等についてお話しいただきました。さらに、岩手県に提案された「三陸震災津波伝承街道」（仮称）のコンセプトについても紹介いただきました。

一方、佐藤さんからは、県内での先進事例として、石巻市における取り組みについてお話し頂きました。

石巻市では、市内の活動団体が集まり、先進事例視察や相互の学びを重ね、震災学習の協働事業体制をつくるための12の施策を整理し、市の検討会議に提案しているとのこと。



意見交換

前半の事例共有を受け、「アドバイザー・他自治体への質問、聞いてみたい事」や「震災伝承・震災メモリアル事業を進めるにあたり、課題や悩んでいる事」を意見交換シートに記入し、共有いただきました。その結果、論点は以下の5点に整理され、これらの論点に沿って、意見交換を行いました。

意見交換シートより整理された論点

1. 各市町の施設内容	・内容 他市町との差別化、更新／運営手法、体制／維持費／ ・来場者 単独では困難？／情報発信
2. 他市町との関係	・どう連携、役割分担／何を伝えるか？施設内容の差別化
3. 他分野との関係	・庁内連携／観光、地域産業、地域づくり
4. 地域の担い手	・どう見つけ、協力体制をつくり、持続していくか
5. 県の役割	

<主な内容>

- ・各市町の施設単独での経営は困難な面もある。全体で来場者を増やすための連携、その中でも、特に情報発信が必要であるが、市町村では難しく、県や中間支援組織に期待したい。(他市町との関係)
- ・震災以前より観光に取り組んできた地域も多い。単に震災の伝承だけでなく、観光分野、震災を契機とした防災教育分野と組み合わせた取組が必要ではないか。(他分野との関係)
- ・運営の受け皿やガイド等地元の方との連携が必要。既存中間支援組織の充実、または担い手となる中間支援組織を新たにつくる方法もある。複数の団体の連合体が1つの目的に歩み寄れば理想ではないか。(地域の担い手)
- ・運営主体は地域がやり、科学的な部分については、専門家の知恵が必要。地と知が必要。(地域の担い手)
- ・自治体単体では出来ないことが多く、各市町村の連携が必要。情報の収集・共有・発信など。市町村が現場でくみ上げて来たニーズに対し、その対応を中間支援組織と一緒に考えるスタンスが良いのではないか。(県の役割)



当日は市町担当者等 21 名にご参加いただきました。今回情報提供が間に合わなかった自治体や、今後更新される情報につきましては、今後も引き続きとりまとめて発信してまいります。詳細は以下の各担当までお問い合わせください。

<開催事務局>

一般社団法人みやぎ連携復興センター

担当：石塚 info@renpuku.org

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

担当：高田 info@tohokuconso.org

表. 宮城県における震災伝承・メモリアルに係る取組等一覧

更新: 2016/11/9 17:17

作成: 一般社団法人 みやぎ連携復興センター・一般社団法人 東北圏地域づくりコンソーシアム

		A. 震災津波伝承施設の整備計画	B. 震災遺構の保存計画	C. メモリアルパークの整備計画	D. モニュメントの整備計画	E. その他伝承事業		
1	気仙沼市	内容	岩井崎プロムナードセンター(震災資料館機能を有す) (新設、1,100㎡、平屋建て)	旧気仙沼向洋高校校舎		震災伝承・メモリアルに係るソフト事業 (岩井崎プロムナードセンターでの語り部と、防災・減災教育プログラムの実施)		
		設置場所	階上地区	現地保存		活動を運営する・関わる法人等	未定	
		供用開始予定	平成30年度内(予定)	平成30年度内(予定)				
2	石巻市	内容	検討中	1、旧石巻市立門脇小学校校舎 2、石巻市立大川小学校旧校舎	石巻南浜津波復興祈念公園 ※公園面積約38.8haを県営・市営公園として整備することとし、県営公園の中心部に国営追悼・祈念施設(仮称)を国が整備	震災伝承・メモリアルに係るソフト事業		
		設置場所	検討中	1、検討中 2、現地保存	南浜地区	検討中	活動を運営する・関わる法人等	語り部、被災地ガイド 「石巻・大震災まなびの案内」 ※その他多数 石巻観光ボランティア協会 (事務局:(一社)石巻観光協会) ※その他多数
		供用開始予定	検討中	1、検討中 2、検討中	平成32年度(予定)	検討中		
3	東松島市	内容	東松島市震災復興伝承館 (既存施設、580.89㎡、2階建のうち1階 164.5㎡、2階213.05㎡)	JR旧野蒜駅プラットフォーム	(仮)祈念ひろば	慰霊碑の建立	震災伝承・メモリアルに係るソフト事業	
		設置場所	東松島市野蒜字北余景56-35 (JR旧野蒜駅駅舎と旧奥松島観光情報センターとの合築施設)	現地保存 (震災復興伝承館隣接)	東松島市野蒜字北余景56-35 (震災復興伝承館隣接)	(仮)祈念ひろば内	活動を運営する・関わる法人等	被災地ガイド (平成24年～、バスに搭乗し、震災復興伝承館、被災跡地、復興状況、観光スポット等についてのガイドを実施) 奥松島観光ボランティアの会(ガイド受付は東松島市観光物産協会)
		供用開始予定	平成28年10月供用開始済み	平成29年春	平成29年春	平成29年春		
4	多賀城市	内容	該当計画無し	該当計画無し	該当計画無し	多賀城市東日本大震災モニュメント建立	震災伝承・メモリアルに係るソフト事業	
		設置場所	該当計画無し	該当計画無し	該当計画無し	多賀城駅前公園(多賀城市中央三丁目地内) 多賀城駅から徒歩1分	活動を運営する・関わる法人等	震災経験・記録伝承事業 震災デジタルデータベース「たがじょう見聞館」の構築、管理を基礎とし、パネル展やワークショップなどを実施。 多賀城市(総務部地域コミュニティ課)
		供用開始予定	該当計画無し	該当計画無し	該当計画無し	設置済み(平成27年3月11日)		
5	仙台市	内容	1. せんだい3.11メモリアル交流館 (新設、906㎡、3階建) 2. (仮称)中心部拠点施設 (新設、規模未定)	1. 旧荒浜小学校校舎 2. 住宅基礎の一部	該当計画無し	1. 中野地区地域モニュメント 2. 荒浜地区地域モニュメント 3. 藤塚地区地域モニュメント 4. 六郷東部地区地域モニュメント 5. 【民間】荒浜祈りの塔 (地元自治会・連合町内会が設置)	震災伝承・メモリアルに係るソフト事業	
		設置場所	1. 若林区荒井地区 (市営地下鉄東西線荒井駅舎内) 2. 未定	1. 若林区荒浜地区、現地保存 2. 若林区荒浜地区、現地保存	該当計画無し	1. 宮城野区中野地区 (中野小学校跡地) 2. 若林区荒浜地区 3. 若林区藤塚地区 4. 若林区種次地区 (東六郷小学校跡地) 5. 若林区荒浜地区	活動を運営する・関わる法人等	1. 3がつ11にちをわすれないためにセンター (平成23年5月せんだいメディアテーク内に開設、市民・専門家・スタッフが協働し、震災とその復旧・復興のプロセスを独自に記録・発信) 2. 震災メモリアル・市民協働プロジェクト「伝える学校」 (平成25年8月～、フィールドワークによる市民参加型のプログラムを通じ、市民が「伝える」手法を学びながら震災の記憶と経験を継承していくための情報発信を実践)
		供用開始予定	1. 平成27年12月 1F先行オープン 平成28年2月 全館オープン 2. 未定	1. 平成29年度前半予定 2. 未定	該当計画無し	1. 平成28年8月 設置済み 2. 平成29年3月予定 3. 平成29年3月予定 4. 未定 5. 平成25年3月 設置済み		
6	名取市	内容	防災学習施設(予定) (新設、400㎡、1階建)	該当計画無し	(仮称)震災メモリアル公園	関上慰霊碑(設置済み) (種の慰霊碑、芽生えの塔)	震災伝承・メモリアルに係るソフト事業	
		設置場所	関上地区河川防災ステーション内	該当計画無し	関上地内	関上地内 (現在設置済の慰霊碑を残す形で(仮称)震災メモリアル公園を整備する予定)	活動を運営する・関わる法人等	震災津波及び自然の脅威について後世に伝承し、震災に対する備えを学習する事業を検討中 (震災前後の情景展示や震災被害の記録閲覧、津波から身を守る方法の学習など)
		供用開始予定	平成32年4月予定	該当計画無し	時期については、工事の進捗によるため未定	設置済み		
7	山元町	内容	旧中浜小学校校敷地内	旧中浜小学校校舎	構想はあるものの整備計画は未定	慰霊碑モニュメント	震災伝承・メモリアルに係るソフト事業	
		設置場所	中浜地区	現地保存	旧中浜小学校グラウンド	花釜地区	活動を運営する・関わる法人等	語り部の会及び生涯学習課による震災遺構ガイド 語り部の会
		供用開始予定	平成30年度末 予定	平成30年度末 予定	未定	平成28年度末 予定		